

転入者アンケート調査・各会議等の報告書まとめ

(1) 転入者アンケート調査について

目的	本市に転入してきた方を対象に、転入のきっかけや本市へ転入の決め手等の基礎資料を得ることや市政に対する意見等を把握するために実施したもの。
調査期間	令和元年5月13日～7月12日
回収状況	有効回収数：473件（回収率：54.2%）
転入者（世帯主）の年齢等	「20歳代」が47.6%と最も多く、次に「30代」が20.7%となっている。また、世帯の種類としては、単身世帯が「63.4%」と最も多く、次いで「夫婦のみ」が18.8%となっている。
転入のきっかけ	「仕事上の都合」が54.8%と最も多く、次いで「家庭の都合」、20.7%、「住宅の都合」が9.7%、「学校上の都合」が6.3%となっている。
転入の決め手	「通勤・通学時間」が最も多く、次いで「買い物等の生活の利便性」、「住宅価格、家賃、広さ」の順となっている。
草津市に期待すること	「住み心地の良い住環境の充実」、「子どもたちの教育環境の充実」、「医療・福祉サービスの充実」が期待されている。
前回調査時との比較	設問ごとの回答割合について、若干の差異はあるものの、概ね同傾向の結果となり、調査時期による大きな差異は見られなかった。 ※前回調査：平成31年1月8日～2月28日

(2) 草津市総合計画策定市民会議について

目的	本市の今後のまちづくりについて市民の皆様とともに話し合い、提案いただいたアイデアや意見を第6次総合計画の策定に生かすとともに、本市の目指すべき将来像を市民の皆様と共有することを目的に実施したもの。
開催日時	第1回：令和元年6月12日（水）午後2～午後4時 第2回：令和元年7月19日（火）午後2～午後4時
会議内容	第1回目は、「草津市の伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」をキーワードにGWを展開し、第2回ではこの内容を踏まえつつ、「将来住みたいまち」を創造していただいた。
将来住みたいまちのキーワード	「ひとにやさしいまち」、「思いやりのあるまち」、「つなぐ、つながる」など、「ひとやまちにやさしく、つながりのあるまち」といった観点での意見が多く挙げられた。

(3) 地域別懇談会について

目的	本市の今後のまちづくりについて市民の皆様とともに話し合い、提案いただいたアイデアや意見を第6次総合計画の策定に生かすとともに、草津市の目指すべき将来像を市民の皆様と共有することを目的に実施したもの。
開催日時	①新堂中学校区：令和元年7月7日（日）午前10時～午後0時 ②草津中学校区：令和元年7月16日（火）午後7時～午後9時 ③松原中学校区：令和元年7月27日（土）午前10時～午後0時 ④老上中学校区：令和元年7月27日（土）午後2時～午後4時 ⑤玉川中学校区：令和元年7月31日（水）午後7時～午後9時 ⑥高穂中学校区：令和元年8月3日（土）午前10時～午後0時
会議内容	本市の「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」をキーワードにGWを展開し、今後進めたい取組について提案いただいた。
主な提案内容	「進めたいこと」として多く挙げた意見としては、公共（バス）の充実や渋滞対策などの「 <u>交通対策</u> 」や、コミュニティの希薄化やまちづくり協議会に関する事項などの「 <u>コミュニティ対策</u> 」など、 <u>日ごろ身近に感じている問題が意見として多く挙げられた。</u> そのほかにも、「自然・生活環境」、「安全・安心」、「高齢者」に関する意見が上位として挙げられた。

(4) 中堅職員への意見照会について

目的	第6次草津市総合計画の期間中に責任ある立場となる中堅職員（30歳から45歳までの職員）の意見を計画策定に生かすことを目的に実施したもの。
照会内容	未来の草津市について「どのようなまちにしたいか」と「将来ビジョン（キャッチフレーズ）」を提案いただいた。
主な提案内容	提案のあった将来ビジョンのキーワードを抽出・分類すると、「人・つながり・やさしさ」、「地域の特性・誇れるところ」、「ふるさと意識」の分類が上位となり、中でも「人と人・心と心のつながり」、「やさしさ」、「心寄せ合う」、「寄り添いあい」などの <u>“人とひとのつながり”</u> を重視した内容が多く提案された。